平成26年度の事業概況

平成26年度においては、これまで以上に地域の皆様への金融仲介機能を発揮していくため、平成26年12月に国の資本参加を受け、財務基盤の強化に取り組みました。これにより、健全性を示す自己資本比率は、15.9%と国内基準である4%を大きく上回り、国の支援のもと、より一層、地域の皆様のご期待に添え得る体力が整いました。

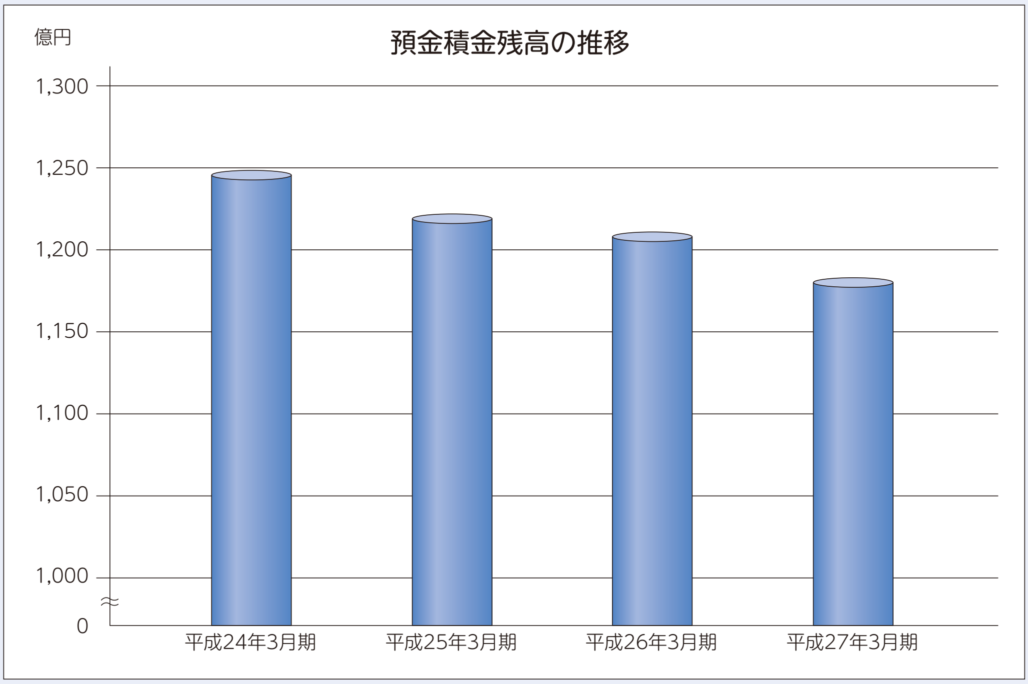
将来における大きな損失の発生を抑え、安定した収益を確保することを目的に、予防的な貸倒引当処理や、これまでの経営合理化等により生じた遊休不動産の将来的な処分を前提とした減損処理等を実施しました。このため、当期純利益は△2,406百万円となりましたが、過年度の繰越損失金と合わせて資本準備金の取崩しにより、当期未処理損失金を一掃し、復配に向けた態勢が整いました。また、貸出金につきましても、期末残高が前年度比18億円と5年ぶりに増加となり、新生「けんしん」として新たな第一歩も踏み出すことができました。

今後も組合員や地域の皆様への感謝の念を忘れず、引き続き地域の信頼にお応えするために、活力ある地域経済の発展を目指し取組んでまいります。

平成26年度の当組合の主な業績は次のとおりです。なお一層のご支援、ご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

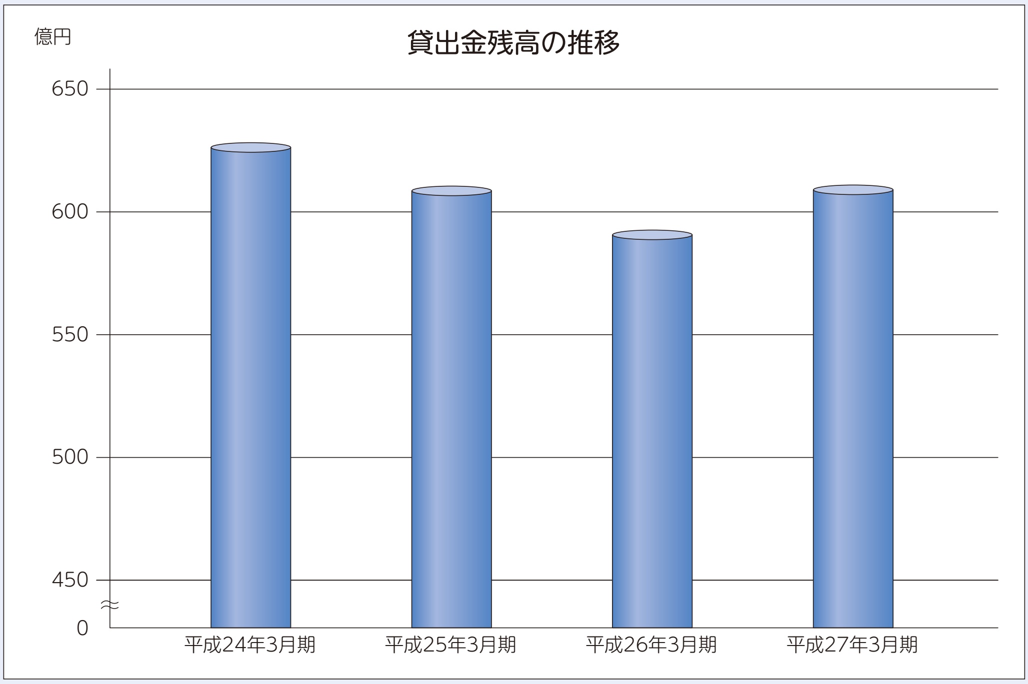
(1)預金

平成26年度の期末預金残高は、1,180億円となりました。



(2)貸出金

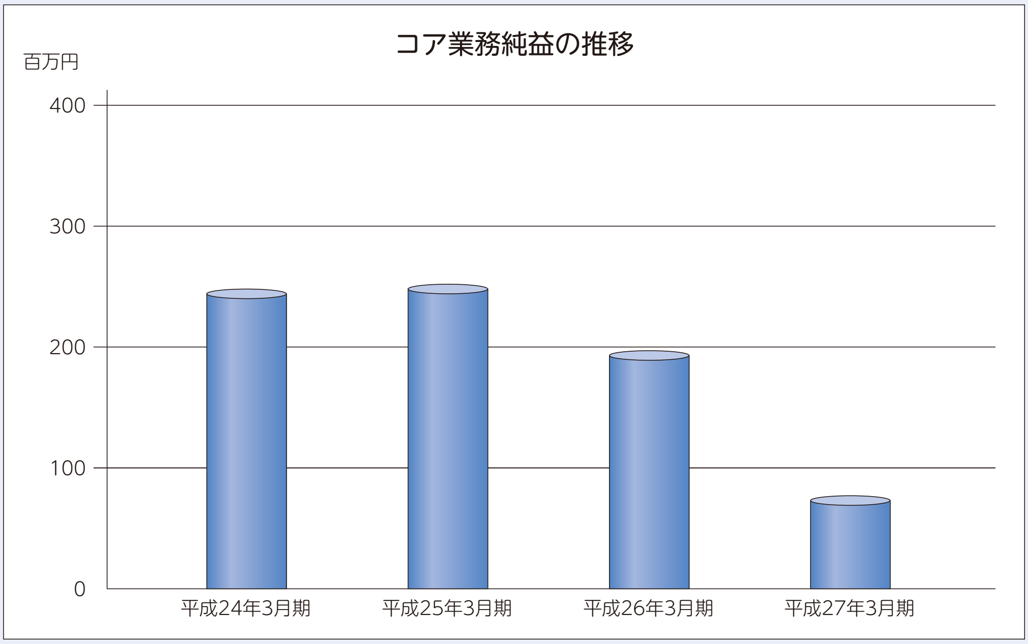
役職員一丸となって、推進活動に努めた結果、貸出金期末残高は、前期末比18億円増加の609億円となりました。22年3月期以来、5年ぶりの増加に転じました。



(3)コア業務純益

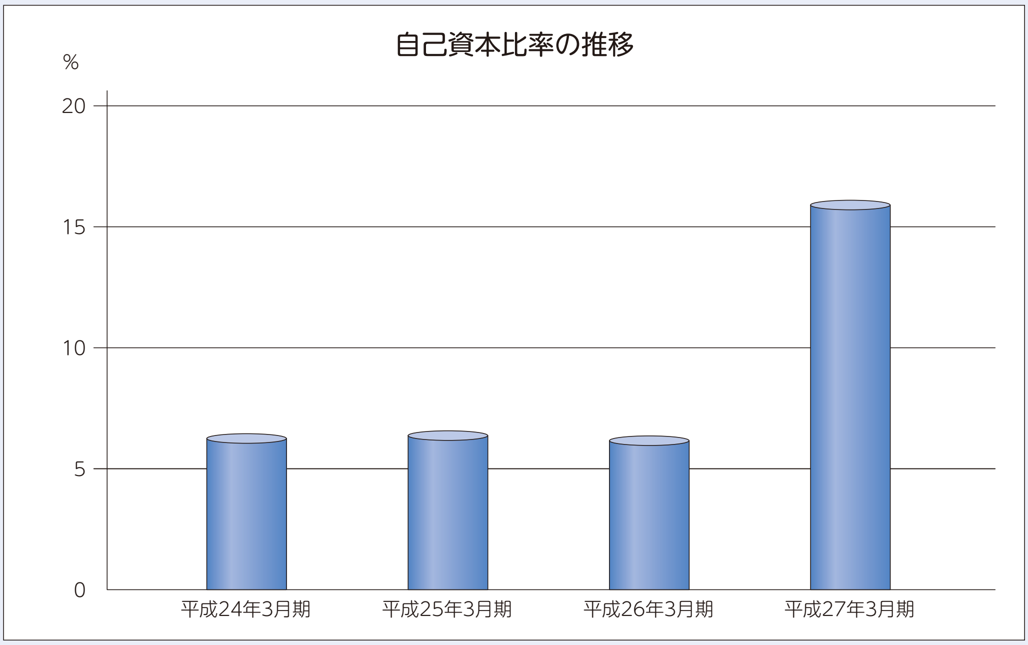
市場金利の低下等により、資金利益は若干低下し、業務収益は低下しました。その中で、経費削減の徹底に努め、コア業務純益は73百万円となりました。

なお、当期純利益は、△2,406百万円の計上となりました。



(4)自己資本比率

公的資本90億円の注入を受けたことから、27年３月期の自己資本比率は15.90％となり、健全性の基準である４％を大幅に上回っております。



主な経営指標の推移

（金額単位：百万円）

	平成24年3月期	平成25年3月期	平成26年3月期	平成27年3月期
預金積金残高	124,818	122,165	121,030	118,029
出資金残高	3,826	3,775	3,718	8,156
貸出金残高	62,625	60,857	59,066	60,944
有価証券残高	20,340	17,767	18,674	23,275
資金利益	1,912	1,820	1,758	1,649
業務純益	171	400	208	△85
コア業務純益	244	248	193	73
当期純利益	81	97	77	△2,406
単体自己資本比率(%)	6.25	6.37	6.16	15.90